

夏の上三川町を満喫しよう！

第13回 夕顔サマーフェスティバル

7月26日、上三川通りで『第13回夕顔サマーフェスティバルINかみのかわ』が開催されました。

開会式では、町の特産物でもあるかんぴょう剥き体験やかんぴょうの太巻き寿司早食い競争などが行われました。

メインイベントとなった「よさこい踊り」では、様々な衣装をまとった踊り手たちが、鳴子を鳴らしながら踊り、最後には、夏の夜空を彩る花火が打ち上げられ、夏のまつりを締めくくりました。



元気に鳴子を鳴らす中学生たち



夜空を彩った納涼花火



上三川高校音楽部による演奏



真剣な表情でかんぴょうを剥く子ども



夕顔の行燈をみつめる子ども



野沢一夫さん

消防庁長官から銀杯授与

前上三川町消防団長野沢一夫さんが表彰

5月1日に、前上三川町消防団長の野沢一夫さん（多功下坪）が、消防庁長官より銀杯を授与されました。

野沢さんは、昭和50年から平成20年3月まで消防団員として活動し、消防防災活動に積極的に取り組んでこられ、在職中の功績が認められたものです。



太陽の光を浴びて咲くヒマワリ

75,000本のひまわりを満喫 第1回かみのかわサンフラワー祭り

8月19日から24日まで、大字上郷地内の特設会場で、第1回サンフラワー祭りが開催されました。

約2ヘクタールの広大な敷地に咲き誇る75,000本のひまわりを一度見ようと、町内外の観光客でにぎわいました。

19日にはオープニングセレモニーが行われ、ステージで様々なイベントが開かれ、24日の最終日には、上郷愛宕神社奉納子ども相撲が行われ、夏の一大イベントを締めくくりました。



農村環境改善センターに設営された会場



上三川町お囃子会連合会によるお囃子の披露



恒例の上郷愛宕神社奉納子ども相撲

小学校敷地に土俵が完成

本郷小学校相撲部土俵開き

8月23日、本郷小学校で土俵開きが行われました。

本郷小学校では、昨年から相撲部が発足し、現在18名の部員が宇都宮市のわんぱく相撲大会や上郷愛宕神社奉納相撲に出場するなど、日々練習に励んでいます。

22日には、日本相撲協会の呼出衆3名が本郷小学校に来校し、本格的な土俵を作り、23日には、完成披露として、土俵開きを開催。子どもたちは、「練習できる土俵ができてとてもうれしいです。」と喜んでいました。



土俵作りを行う呼出衆



ケガがないように土俵を清める行事

もしもの時に備えて不審者を撃退しよう 各小学校区の学童保育で防犯講習会

各小学校区の学童保育で、この夏休みを利用し、学童保育内に不審者が侵入した際の防犯講習会を実施しました。

7月23日には、本郷北小学童クラブで防犯講習会を実施。下野警察署スクールサポーターの講習後、実際に不審者が侵入した際を想定した避難訓練を行いました。指導員たちは、清掃用のモップやバットなどで子どもたちを避難させようと応戦。「訓練を繰り返すことが重要ですね。」と、指導員は話していました。



不審者に対応する指導員たち



笑顔でスキンシップをとる学生

福祉・ボランティア精神を学ぼう サマースクール開校

7月25日から8月12日まで、社会福祉協議会主催による「第18回サマースクール」が開校されました。

町内在住の中学生・高校生65名が参加し、様々な体験学習を行いました。25日の開校式では、赤ちゃんボランティアの人たちの協力によりふれあい体験を実施。

お母さんたちからアドバイスを受けながら、赤ちゃんをあやしたりするなどスキンシップを図り、育てることの重要性を学びました。

火災が起きたときにそなえて 明治小学童クラブで防火講習会

7月30日、明治小学童クラブで、防火講習会を開催しました。

石橋地区消防組合上三川分署員の指導のもと、学童保育施設内で火災が起きたときの避難の方法や、水消火器を使用した、消火訓練を実施しました。

署員からの説明を、指導員や子どもたちは真剣に聞いていました。最後には消防自動車を見学し、子どもたちは喜んでいました。



消火器の使用方法を聞く学童保育の指導員と子どもたち



サギソウを植えるサギソウの会会員

磯川のサギソウを復活させよう サギソウの会が磯川にサギソウを定植

7月31日、サギソウの会の会員たちが、磯川緑地公園内にサギソウの定植活動を行いました。

サギソウの会の石川伍一会長が、株を細かく分けて、昨年から大切に育て上げたものを、会員たちが定植活動を行ったものです。

石川会長は、「株を育てるもの大変ですが、この磯川にサギソウが復活すれば、大変うれしいことです。」と話していました。



子どもたちに人気のかき氷

活性化事業の集大成

しらさぎ自治会で夏祭り

8月3日、しらさぎ自治会で、夏祭りを開催しました。しらさぎ自治会では初の試みで、自治会の会員たちが、健康チェックやバザー、かき氷などの模擬店や輪投げなどのレクリエーションなどを行いました。

厳しい暑さの中、かき氷の売れ行きは好調で、「冷たくておいしい。」などの声があちらこちらで聞こえました。

土から魚がでてきた!?

大きさ約30センチの魚の形のジャガイモ

下神主の津野田茂さんのお宅で、食用に育てていたジャガイモ（メークイン）が魚の形をしており話題を呼んでいます。

7月末頃、お孫さんと一緒にジャガイモを掘っていたところ、直径約30センチ重さ約700グラムの魚の形をしたジャガイモを発見。お孫さんも「魚が出た!」と驚いていたとのこと。津野田さんは、「食わずにしばらく飾っておこうと思います。」と話していました。



魚の形をした大きいジャガイモ

町をきれいにしよう!

日産自動車大学校学生たちが周辺道路を清掃 鬼怒川クリーン作業とマスのつかみ取り大会 上三川町建設事業協同組合が道路・河川愛護活動

町をきれいにしようと、様々な催しが行われました。

7月16日には、日産自動車大学校の生徒たちが「奉仕の心を持つこと」「ごみをきちんと捨てる意識を持たせる」ために、周辺道路の清掃活動を行いました。また、7月19日、桃畑緑地公園東側河川敷特設会場で、鬼怒川クリーン作業とマスのつかみ取り大会が開催。8月7日には、「愛リバーとちぎ」及び「道路里親」事業の一環として、上三川町建設事業協同組合員が、田川の河川敷2か所と町内の道路路線5か所の草刈り・ごみ拾い作業などを実施しました。



青雲寮から学校までの通学路を清掃する学生たち



道路清掃を行う組合員



マスに逃げられないように急いで袋に入れる子ども